

新大病院たより

和

第47号

(標題：中野雄一 元病院長)

環境整備の終了及び定期路線バス乗入れ開始

外来診療棟前の基幹環境整備が2014年6月をもって終了しました。

これまでの工事期間中、来院される患者さんやご家族の方々にはご不便をおかけしてきましたが、今回の基幹環境整備における患者用駐車場等の整備、外来診療棟玄関前の送迎用ロータリーの設置、コンビニやレストラン等が入ったアメニティモールの完成により、来院される方々の動線の安全確保とアメニティ機能の充実を図ったところです。

特に外来診療棟前の歩道については、ロードヒーティングが敷設されており、防雪及び凍結防止のための工夫がなされています。

また、2014年6月からは、新たに外来診療棟玄関前ロータリーへの新潟交通バスの乗り入れも始まり、来院される方の利便性も向上しました。なお、玄関前ロータリーには屋根が設置されており、車を乗り降りする際の雨雪を防ぐよう配慮しています。今後も更に地域の皆さんの期待に応え、患者さんにとって分かりやすく、安心・安全で優しい病院の実現を目指していきます。



本院の理念・目標

◆ 理念 ◆

- ・生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します

◆ 目標 ◆

- ・患者本位の安全で安心できる医療を提供します
- ・豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人を育成します
- ・研究成果を反映した高度で先進的な医療を実践します
- ・地域連携を推進するとともに地域の医療水準の向上に貢献します
- ・病院運営の適正化と効率化を促進します

患者の権利と責任

1. 個人の尊厳が尊重され、良質で公平な医療を受けることができます
2. 病状、治療、看護等について十分な説明と情報提供を受けることができます
3. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができます
4. 自分が受ける医療について自分の意思で決めることができます
5. プライバシーが尊重され、医療の過程で得られた個人情報は保護されます
6. 医療者と協力し、自らの医療に積極的に参加する責任があります



新たに企画した 『サッカーJ1リーグ戦の病院内ビューイング』 を初めて開催

新潟大学医歯学総合病院では、入院中の患者さんに、元気・活力を得ていただこうと、学生サークルの新潟大学アルビレックスプロジェクト、スカパーJAST(株)、及び(株)アルビレックス新潟のご協力のもとに平成26年4月26日(土)に『アルビレックス新潟vs徳島ヴォルティス』戦の病院内ビューイングを新潟県内の病院では初めて開催し、病棟12階の会議室において入院患者さんら約100人に観戦いただきました。

会場は、選手の等身大バナー・ポスターの掲出によりスタジアムと同じような雰囲気となり、試合前には、選手からビデオメッセージで、「早く良くなって試合会場に足を運んでください。」など、挨拶があり、チームマスコットのアルビくんとスワンちゃんも登場しました。

試合開始後は、患者さん、アルビレックス新潟のユニフォームを着た医師・看護師等からなる院内ボランティアスタッフ、及び学生スタッフが一丸となって画面に映る選手を応援し、アルビレックス新潟の選手が得点を決めるとガッツポーズ・ハイタッチで盛り上がり、また、ハーフタイムにはアルビくんとスワンちゃんとのじゃんけん大会があり、直筆サイン色紙等がプレゼントされました。試合が終了し、アルビレックス新潟の勝利が決まった際は、来場者全員で喜び合いました。

試合後には、観戦された入院患者さんから、「楽しかったので入院生活を頑張れる。」との感想が聞かれました。

新潟大学医歯学総合病院では、今後も患者さんの療養に資する院内行事を実施する予定です。



病棟12階の会議室で試合を観戦する入院患者ら

病院ボランティアの方々と意見交換会・ 感謝状授与式を行いました

平成26年8月現在、本院では20代から90代まで40人のボランティアの方々から活動していただいています。

活動内容は、外来患者の総合案内、患者用図書館（海のみえる図書館）の受付・図書の整理、小児病棟での本の読み聞かせなどで、皆さん黄色のエプロンを着用して活動しています。

日頃から患者さんとの懸け橋となり、本院の運営にご協力をいただいているボランティアの方々と、今年の3月に病院職員と意見交換会並びに感謝状授与式を行いました。

意見交換会では、ボランティアの方々から現状の活動について、疑問に思っている事や患者さんの目線に立った提案など活発なご意見をいただきました。

感謝状授与式では、本院において長きに渡り活動していただいているボランティアさん2人に鈴木病院長から感謝状と記念品が贈られ、日頃の活動に対して感謝の言葉を述べられました。

私たち病院職員は、今後もボランティアの方々のご意見に耳を傾け、コミュニケーションを図りながら、患者サービスの向上に努めていきたいと思ひます。

最後に、本院では外来患者の総合案内、患者用図書館の活動について、ボランティアさんを募集しています。

ご希望の方、興味のある方は病院総務課（025-227-2406）までお問い合わせください。

病院職員一同、心よりお待ちしております。



中央診療施設紹介 ⑬

血液浄化療法部

いろいろな腎臓の病気が進んで十分な尿ができなくなると、腎不全という状態になり、血液透析や腹膜透析が必要になります。日本ではこれらの透析治療を受けている人が31万人以上いて、毎年増え続けています。そして、慢性腎不全の人は腎臓以外の病気（感染症や心臓病、脳血管疾患、癌など）も、とても多いことも事実です。

新潟大学医歯学総合病院血液浄化療法部は、この腎不全の患者さんの血液浄化治療を主に行っています。また、血漿交換、血液吸着などの特殊な治療も行っています。

血液浄化療法部には透析室にベッドが15床、うち個室は3床あります。他に携行式持続腹膜透析（CAPD）室、診察室、指導室、機械室、検査室、研修室、控室などが配置され、それぞれ有効に稼働しています。

多くの複雑な合併症を抱える患者さんや、急性期の患者さんが多い大学病院ですので、高度な医療技術とサポートが求められます。腎・膠原病内科の医師、看

護師、臨床工学技士、そして医療事務職員などからなるスタッフ一同、明るく前向きに努力し、患者さんのためにより良い安全安心な医療を提供できるよう、日夜頑張っています（写真）。

（血液浄化療法部 部長 成田 一衛）



病気の基礎知識 ⑭ 逆流性食道炎

最近のテレビで「胸焼け」、「吞酸」を感じたら、それは「逆流性食道炎という病気かも知れません」というコマーシャルをよく観ます。このコマーシャルで症状を訴える人が若い人だという事もミソです。胃では強い酸性の胃酸が分泌されます。食道粘膜は胃酸に対する抵抗力が弱く、胃酸で傷つかないよう防御機構が働いていますが、その主なものが下部食道括約筋です。防御機構が破綻すると胃酸や十二指腸液が食道に逆流してびらんや潰瘍を生じます。これが逆流性食道炎で、放置すると食道癌合併のリスクも増えます。逆流性食道炎は元来、日本人には少ない病気でしたが、最近、増加傾向にあり、原因の一つに若年層を中心にピロリ菌感染率の低下が言われています。ピロリ菌感染者では胃粘膜萎縮とそれに起因する胃酸分泌減少が観られますが、非感染者では胃酸分泌が保持されます。ピロリ菌感染減少は胃癌発生減少に貢献し大変喜ばしい事です。一方では逆流性食道炎が起こりやすい状況を作ります。日本人の食事の欧米化も問題です。最近の日本人の

食事はタンパク質・脂肪摂取の増加、海産魚類摂取の減少の傾向にあります。タンパク質の多い食事は胃酸分泌を増加させ、魚油は胃酸分泌を抑制させる事が知られています。脂肪の多い食事は十二指腸粘膜からのコレシストキニン分泌増加を介して下部食道括約筋の収縮を抑制し胃液の逆流を起こしやすくします。高脂肪食は肥満の原因にもなり、肥満者や妊娠中の女性、背中が曲がった人では腹圧が上昇し食道裂孔ヘルニアを来たしやすく胃内容物の逆流を起こします。また、高齢者では下部食道括約筋の働きや食道のぜん動運動、唾液の分泌量の低下も問題になります。コーヒーやアルコールの取りすぎにも注意が必要です。症状のある人は上部消化管内視鏡検査を受けて逆流性食道炎と診断されれば、プロトンポンプ阻害剤内服が治療第一選択となりますが、難治性の場合には逆流予防術なども検討されます。

（消化器内科 准教授 野本 実）

病院教授等ご紹介

病院教授等（病院教授、病院准教授、病院講師、病院助教）の称号付与は、新潟大学医歯学総合病院における診療・研究・教育の充実のため、特に臨床面で優れた業績が認められる者、及び病院運営・病院経営等に貢献した者に対して付与しているものです。

平成26年度は下記の22名に「病院教授等」の称号を付与しました。

称 号	氏 名	診療科名等	称 号	氏 名	診療科名等
病 院 教 授	松 戸 隆 之	検査部 副部長(医師)	病 院 講 師	新 井 啓	泌尿器科(医師)
	吉 村 宣 彦	放射線部 副部長(医師)		朝日藤 寿一	矯正歯科診療室(歯科医師)
	本 多 忠 幸	高次救命災害治療センター 副部長(医師)		杉 田 典 子	歯周病科診療室(歯科医師)
	木 村 慎 二	総合リハビリテーションセンター 副部長(医師)		児 玉 臨 麟	歯の診療科診療室(歯科医師)
	長谷川 隆志	医科総合診療部 副部長(医師)	病 院 助 教	宮 坂 大	整形外科(医師)
	田 邊 嘉 也	感染管理部 副部長(医師)		谷 藤 理	整形外科(医師)
	奥 田 一 博	歯周病科診療室(歯科医師)		金 井 朋 毅	整形外科(医師)
	吉 羽 邦 彦	歯の診療科診療室(歯科医師)		平 石 哲 也	脳神経外科(医師)
病院准教授	芹 川 武 大	総合周産期母子医療センター(医師)		小 原 彰 浩	矯正歯科診療室(歯科医師)
	田 中 裕	歯科麻酔科診療室(歯科医師)		金 城 篤 史	義歯診療科診療室(歯科医師)
	吉 羽 永 子	歯の診療科診療室(歯科医師)			
	田 中 みか子	義歯診療科診療室(歯科医師)			

平成26年6月1日から玄関・駐車場の名称を変更しました

病院の再開発整備完了にあわせ、ご来院の方々の一層の利便性向上のため、玄関・駐車場の名称を下記のとおり変更しました。

新 名 称 (旧名称等)

- ①外 来 玄 関 (←外来玄関) ※変更なし
- ②病 棟 玄 関 (←入退院玄関)
- ③東 出 入 口 (←外来診療棟東側入口)
- ④西 出 入 口 (←西診療棟入口)
- ①A第 1 駐 車 場 (←外来玄関前患者駐車場)
- ②B第 2 駐 車 場 (←立体駐車場)
- ③C第 3 駐 車 場 (←外来診療棟脇駐車場)
- ④D第 4 駐 車 場 (←医学部側駐車場)
- ⑤E第 5 駐 車 場 (←臨時駐車場)



新大病院たより「和」のバックナンバーは本院ホームページ
(<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/about/koho.php>) をご覧ください。

発行 新潟大学医歯学総合病院広報委員会

(お問い合わせは総務課総務係 電話 025-227-2407,2408まで)